鈴鹿医療科学大学同窓会会報

SUMS ALUMNI

vol.23
2022.10.01

SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE ALUMNI ASSOCIATION
鈴鹿医療科学大学 同窓会

支部報告

医療福祉学科 医療福祉学専攻同窓会からのお知らせ

医療福祉学科（医療福祉学専攻）での十六年間を振り返って

卒業生の皆様、お元気でしょうか。二〇一〇年三月に3期生として医療福祉学科を卒業し、その後、助手として勤務しておりました福田佳奈です。大学卒業後、二〇一〇年四月から事務助手として、学科の学外実習事務をはじめ、国家試験関係事務や講義・演習のサポート、その他、大学行事の運営補助や先生方のサポート、学生相談等の業務を担ってきました。十二年間の事務助手を終え、二〇二二年三月に退職いたしました。

時代の流れに合わせて、鈴鹿医療科学大学そして医療福祉学科（医療福祉学専攻）では変化をし続けております。本学科がスタートした二〇〇四年時点では三学部七学科の大学でしたが、現在では四学部十学科十四専攻となり、多くの医療・福祉の専門職養成に拡充されました。本学科（本専攻）では、二〇二二年三月に15期生が卒業し、これまでに約六五〇人が本学科を卒業しました。一学年の定員数が開設当初の一〇〇名から、現在は三〇名に減少したものの、医療・福祉のニーズに合わせて社会福祉士・精神保健福祉士養成ではカリキュラム改訂が行われたり、就職先の幅も多岐にわたっています。

学生時代の四年間において、熱心にご指導してくださった先生方、本学科の先駆者として後輩のお手本になってくださった1期生・2期生の先輩方、一緒に励まし合い共に学び合った3期生の仲間、そして助手時代の十二年間において、誠実に勉学に取り組む姿、成長する姿をみせてくださった4期生～15期生の後輩・卒業生の皆様に深く御礼申し上げます。皆様と出会えましたことが私の人生において大きな大きな宝物となり、大変貴重な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

コロナ禍でまだまだ活動に制限がありますが、医療福祉学専攻同窓会においては、イベントや研修会等を行い、卒業生や在学生とのつながりを持つことができる機会を作っていければと思っております。また卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。（福田　佳奈）

今後の活動計画

「第三回 卒後研修会」開催について

二〇一七年、二〇二〇年に実施した〝卒後研修会〟が好評であったため、「第三回 卒後研修会」を以下の日時で開催します。

開催日：二〇二三年二月十八日（土）
十三時三〇分～十五時三〇分
（十三時受付開始）

開催場所：鈴鹿市内（現在、調整中）

内　容：
第一部　特別講演　松原新教授
第二部　グループワーク
卒業生と在校生の交流会

詳しくは、各期役員より連絡を致しますので、奮ってご参加ください。

※各期役員の連絡先を知らない卒業生は、以下のアドレスへご連絡ください。

●医療福祉学専攻支部同窓会事務局
連絡先●
山下千晶：cak_life_journey10led@email.plala.or.jp
福田佳奈：ka7619.151e@gmail.com

二〇二二年度役員紹介

（※数字…卒業期1～15期生）

会長：縣希輔①　副会長：兵倉香織（旧姓：丹羽）②　事務局長：山下千晶（旧姓：冨田）①　会計：福田佳奈③　役員：伊藤達也①　市川真也②　澤孝行④　勝田貴之⑤　森本早起⑤　市川真希（旧姓：福吉）⑥　山際千晴⑦　米本麻由佳⑦　伊藤有希⑧　前納一輝⑧　沖本成未⑨　戸坂勇希⑪　松山祐奈⑫　長谷川美紀（旧姓：熊谷）⑬　米本安那⑭　鎌倉隆成⑮

支部報告

医療栄養学科同窓会からのお知らせ

医療栄養学科管理栄養学専攻を卒業したOGの活躍をお知らせします!!

■早川　まい（23期生）

私は卒業後、「お薬ではなく健康を届ける」をコンセプトにした調剤薬局（健やか薬局）に就職しました。薬局では体組成計を配置し、待ち時間に栄養相談を行ったり、毎月テーマを設け食事のお便りを作成・配布したりして食事に関する啓発を行いました。また、管理栄養士として地域の方とのコミュニケーションを活発化するために、地域の方が楽しめる健康イベント、公民館講座などを企画運営し、マーケティング力を鍛えました。

現在は、調剤薬局併設のカフェで働いています。当初は集客に悩む日々でしたが、健康メニュー開発やマルシェなどのイベント企画など、地域の方が気軽に立ち寄れる場所を目指し試行錯誤を行いました。今では常連さんも増え、日常会話に加えお薬の相談、食事の相談も気軽に飛び交うのがとても嬉しく感じます。

これからも、管理栄養士や薬剤師を身近に感じていただけるように、私たちに何が出来るかを考え日々努めていきます。

支部報告

鍼灸サイエンス学科同窓会からのお知らせ

令和三年度 卒業生キャリア講演

令和三年十二月十七日（金）に鍼灸サイエンス学科一～四年生の在校生を対象とし、卒業生キャリア講演を開催致しました。今回は本学科四期生でJリーグ プロサッカーチームの清水エスパルスでトレーナーを務めている加藤智崇さんにご講演頂きました。

加藤さんは、卒後、鍼灸接骨院で勤務しながら静岡学園高等学校のサッカー部などでトレーナーを務め、本年から清水エスパルスのトレーナーとして活躍されています。この経験から、鍼灸接骨院での業務ややりがい、苦労話などを冒頭でお話されました。次いで、学生時代より主にサッカーのトレーナーに携わった経験から、学生の頃に取り組むべきことなどについて加藤さんの考えを踏まえアドバイス頂きました。また、Jリーグでのトレーナーについての現状や、どのようにステップアップして現在に至るのかについてもお話頂き、本学科でトレーナーを目指す学生にとって、鍼灸師としてトレーナーとしてすべきことをイメージできる良い機会となりました。

近年は新型コロナウイルスの影響から、学生が就職活動やトレーナー活動などに積極的に参加できない状況が続き、学生のモチベーションが低下しているように感じていました。しかし、本講演後に学生から「なぜ本学科に入学したかったのかを思い出しました」、「色々な活動に参加したいです」など前向きなコメントが寄せられ、学生がポジティブになれた良い機会となったようです。学生達がこの気持ちを忘れないうちに、可能な限り本学科教員で様々な活動のサポートをしていけたらと考えています。

支部報告

薬学部同窓会からのお知らせ

令和三年度活動報告

令和三年十一月二十八日に、第八回薬学部同窓会がオンラインにて開催されました。第一部の総会では、令和二年度の事業報告や会計報告が執り行われ、新任役員として伊藤翼さん、小笠原暁海さん、安東遥さん、仙石歩夢さんの四名が8期生幹事へ選任されました。第二部の第十三回生涯研修セミナーでは、五藤健児先生（3期生）より製薬企業で取り組まれている乳酸菌FK-23に関する基礎的な研究から製品開発へ至るまでのエピソードや腸内細菌の重要性についてご講演いただきました。また、西村友希先生（3期生）より小児科の門前薬局としての立場から成人や高齢者にはない小児科特有の薬にまつわる苦難や奮闘する日々の業務についてご講演いただきました。第三部の交流会では、スモールグループに別れて交流会を行いました。卒業生のみならず、在校生や恩師の先生方にもご参加いただき、コロナ禍ではありますが、大変有意義なひと時となりました。

卒後研修セミナー（五藤先生）

卒後研修セミナー（西村先生）

交流会

第八回薬学部同窓会参加者の声

■河井　栄作

（3期生、有限会社みどり調剤薬局）

私は卒業後、静岡県浜松市にある浜松労災病院で病院薬剤師として勤務した後、三重県伊勢市にある有限会社みどり調剤薬局に入社、内科門前の店舗で半年勤務した後、耳鼻科門前の管理薬剤師になり五年目になります。外来での処方箋応需や外来服薬支援、在宅や施設の患者さんの調剤・投薬・服薬管理などの日常業務に加え、デイサービスやサ高住のスタッフさんを対象にお薬の講座を開いたりしています。また、学校薬剤師や休日夜間診療所の当番、市民講座の講師、生活支援会議など、薬剤師会の伊勢市の業務も任せていただき、充実した日々を送っています。来期から妻に代わり伊勢薬剤師会の理事をさせていただくことになりました。浅学菲才の身でありますが、今後も薬剤師の業界へ貢献できるよう精進します。

■五藤　健児

（3期生、ニチニチ製薬株式会社 中央研究所）

令和三年十一月二十八日（日）、オンラインにて開催の第八回薬学部同窓会に参加致しました。私自身は同日の卒後研修セミナーの演者を「腸から健康を考える」というテーマにて、少しでも同窓生に役立つ講演になればという思いで、努めさせて頂きました。その後の交流会では、他業種の薬剤師の先生方の精進されているお話を拝聴し、これまで以上に身の引き締まる心持ちとなりました。

同時に、同級生などの顔ぶれが画面に並び、懐かしさが込み上げるとともに非常に充実した時間となりました。まだまだ予断を許さない日々が続きますが、次回以降の総会では、皆様に直接お会いできる状況となることを期待しています。末筆になりますが、本学薬学部同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

薬学部同窓会の公式ホームページを開設しました

この度、薬学部同窓会の公式ホームページを開設いたしました。住所や氏名、連絡先の変更についてはコチラからご登録ください。また、薬学部同窓会からのご案内につきましてもホームページへ掲載していく予定ですのでご覧くださいませ。QRコードからもアクセス可能です。

URL:
https://dousoukai.site/sumsyakugaku/

第９回薬学部同窓会開催のお知らせ

日　時　令和４年 11 月 27 日(日)
14 時 00 分～ 17 時 00 分
(13 時より入室可能)

内　容　総会、生涯研修セミナー、交流会

会　場　鈴鹿医療科学大学白子キャンパス内
もしくは Zoom（オンライン開催）

参加費　3,000 円

申込方法　登録フォーム（QR コード）より申込。
もしくは、各学年幹事へ申込連絡して下さい。
https://forms.gle/stQctJ44oPmf2Eju6
参加登録を頂いた方へ【Zoom URL】を
開催までにメールでお送りします。

問い合わせ先　鈴鹿医療科学大学薬学部同窓会
運営委員会
Email: sums.pharmacy.obog@gmail.com

【役員一覧】
1 期生幹事…雨皿千鶴代、河井　亜希、鍋谷　和
2 期生幹事…浮氣　良太、内田　亮太、星野　美帆、堀内　成未、土方　崚
3 期生幹事…伊藤　朱里、近藤　健太、瀧下　裕、河井　栄作
4 期生幹事…各務　有里、白上　茜、鈴木　啓太、沖　活也、宮崎　翔平
5 期生幹事…太田　有亮、村田　実里
6 期生幹事…那須　隆斗
7 期生幹事…田畑　実来、中川　有惟、中川　直也、伴　勇介、前川　幸恵
8 期生幹事…伊藤　翼、小笠原暁海、安東　遥、仙石　歩夢
理　事…雨皿千鶴代、鍋谷　和、土方　崚、櫻谷　実里
会　計…宮崎　翔平、那須　隆斗
副会長…大出　真衣、五藤　健児
会　長…藤戸　淳夫

第９回薬学部
同窓会登録フォーム

支部報告

放射線技術科学科同窓会からのお知らせ

■卒業生によるキャリア支援
臨床実習報告会の紹介

放射線技術科学科　松浦　佳苗（2期生）

本学科では四年生を対象に例年四月末～七月中旬にかけて臨床実習を実施しています。卒業生の皆さんが勤務する施設でもたくさんの学生がお世話になりました。先輩の学びを後輩に引継ぎ、学生の基本的知識や技能を高めるため、今年は四年生と三年生合同での臨床実習報告会を開催しました。今年はＺＯＯＭによる遠隔授業方式で実施されました。四年生と三年生合わせて約二四〇名が五つの会場に分かれ、四年生が臨床実習で学んだことと、三年生に伝えたいことをプレゼンテーションしました。報告会後には、レポートを提出していただき振り返り学習を指導しました。また、学生による投票および教員投票の結果、最優秀賞一名、優秀賞十五名が表彰されました。以下、表彰者名と参加学生からの感想例を一部紹介いたします。

受賞者一覧（敬称略）

☆**最優秀賞**：井上陽香

☆**優　秀　賞**：稲場新菜、大崎　竜輝、喜屋武史織、斎藤南帆、関口涼太、竹内きらら、服部姫由、樋口美瑛、堀田珠里、見生彩乃、島崎　豪、新谷祐斗、妹尾亮汰、前　琴子、真下翔衣

参加学生からの感想（一部紹介）

★患者接遇の具体的な言い方などを知ることができました。またＥＲなど自身の実習先になかった装置の話も聞くことができとても有意義な時間となりました。また、三年生に伝えたいことは四年生にとっても就職前にしておくべきことになると感じました。他の人と学びの着眼点が異なり、聞いていてとても勉強になりました。（四年生）

★臨床実習に行くにあたって解剖の知識が絶対に必要だと先輩方は仰っていました。臨床実習に関して分からないことが多く不安ですが、その不安を取り除くためには、自分の確かな知識とそれによって出てくる自信が必要だと思います。自信のための知識を得る事に対してのヒントを教えて頂けたので頑張ろうと思えました。（三年生）

★まず印象に残ったのは四年生の態度です。臨床実習という社会の現場に出たということや、就職活動をしていることもあり、発表中の言葉遣いが丁寧であると感じました。他には、どの四年生も「最初はきつかったが、三か月はすぐに過ぎてしまい、最後には有意義なものになっていた。」ということです。（三年生）

★先輩方の発表で印象に残った事として患者様とのコミュニケーションにおいて臨機応変な対応が必要になること、臨床実習と学内実習のポジショニングの違いがあるためその病院に合わせたポジショニングを覚えること、多職種との連携としてＩＶＲのステントの留置場所などを看護師などと相談することが挙げられました。（三年生）

卒業生のご紹介

二〇二二年四月より、放射線技術科学科に本学科の卒業生が着任されましたのでご紹介します。

永澤 直樹 さん
放射線技術科学科
准教授
（1997年入学 第７期生）

二〇二二年四月より保健衛生学部放射線技術科学科に教員として着任しました７期生（ＨＲ97生）の永澤直樹です。縁あって卒業から二十一年振りに鈴鹿医療科学大学に帰ってきました。

中庭の芝生が昔と変わらず青々としていたり、在学中に教わった先生が今でも現役で教鞭を執られていたりと懐かしさを感じると同時に、新しい学部、校舎、病院そして二十三号線沿いに白子キャンパスまでできていて、いつの間にこんなに大きな大学になっていたのかと浦島太郎の気分を感じています。

新人の頃、恩師に「今、お前の世話をしているのは自分が昔同じように先輩にお世話になったからだ、お前もその時が来たら後輩のお世話をするように」と言われました。後輩の卵をお世話して社会に羽ばたいていくお手伝いができればと思っています。

診療放射線技師法改正による告示研修（三重県会場）が本学で開催されました

診療放射線技師法改正による厚生労働省告示第二七三号研修（告示研修）が全国で実施されていますが三重県会場として、六月二十五、二十六日および、八月二十七、二十八日に本学で開催されました。合わせて三重県内外から一八二名の診療放射線技師の皆さんが実技研修を受講されました。法改正による義務研修のため参加者は熱心に研修に取り組んでいただいていました。今回の告示研修では、本学卒業生の方々も多数参加されていましたので、集合写真を撮らせていただきました。実技研修の会場は本学科の実習室を使用して行われ、実習室に入るのは卒業以来という方も多く、研修の合間に卒業生同士で話が弾んだり、懐かしんでいただいたりと、ミニ同窓会のようでした。本学は三重県会場として、今後も使用される予定です。

放射線技術科学科支部からのお知らせ

コロナウイルス感染症の影響から、この二年間は卒業生と在学生との交流会や数年ごとに大学祭時に実施していた学科同窓会もやむなく活動を停止あるいは中止となっていました。しかし、在学生や卒業生にとって、同窓との交流の機会や在学生のキャリア支援はますます重要になると考えられます。

今年度からは、大学祭初日（中部地域学術大会等と重なった場合は十一月中）に、放射線技術科学科同窓会を開催できるように企画を進めてまいります。また三月五日（日）にも生涯学習セミナーを開催企画いたします。ぜひご参加ください。

令和４年度放射線技術科学科同窓会【11月】開催のお知らせ

日　　時：令和４年11月12日（土）
15時00分～17時30分（14時40分より入室可能）
内　　容：総会、生涯研修セミナー、交流会
会　　場：鈴鹿医療科学大学Ｂ棟3513（変更の場合あり）
参 加 費：無し（感染症状況によって情報交換会実施の場合あり）
申込方法：登録フォーム（QRコード）より申込または事務局武藤まで連絡して下さい。
https://forms.gle/dQzs9XzTgJjofVf9A
問い合わせ先：鈴鹿医療科学大学放射線技術科学科同窓会事務局
E-mail: sumshralumni@gmail.com

令和４年度放射線技術科学科同窓会【３月】開催のお知らせ

日　　時：令和５年３月５日（日）
14時00分～17時00分（13時40分より入室可能）
内　　容：生涯研修セミナー、在校生と卒業生との交流会
会　　場：鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス（感染症状況により Zoom）
参 加 費：無し（可能な場合、情報交換会実施（有料））
申込方法：登録フォーム（QRコード）より申込または事務局武藤まで連絡して下さい。
https://forms.gle/2DBc4bPkP9SFv8SN7
問い合わせ先：鈴鹿医療科学大学放射線技術科学科同窓会事務局
E-mail: sumshralumni@gmail.com

放射線技術科学科 Facebook ページの紹介

本学科では、2021年よりFacebookを開設しています。Facebookでは学科の特色や学生の活動状況など、放射線技術科学科の魅力を紹介しています。また、本学科は本学卒業生の教員も複数在籍しており、Facebookの中で卒業生の方々の情報も発信しています。是非ご覧ください！

SUMS NEWSより

「検査と健康展・子宮頸がん啓発in鈴鹿」に参加

保健衛生学部 医療栄養学科
教授 米田 操

十一月二十三日（火・祝）に、千代崎キャンパスで「検査と健康展・子宮頸がん啓発in鈴鹿」が開催されました。三重県臨床検査技師会と三重県臨床細胞学会が主催で、県民の健康意識向上や臨床検査技師の周知、子宮頸がん啓発などを目的に、県内各地で毎年実施されています。

当日は、臨床検査技師や本学の臨床検査学専攻の一～二年生、四日市看護医療大学の学生、鈴鹿高等学校の生徒、本学の教職員、保護者など約一二〇名が参加しました。骨密度測定や頸動脈エコー、物忘れ検査や血管の硬さなどを測定し健康状態を確認したり、臨床検査技師や認知症予防について学ぶ展示も行われました。当日の様子について、三重テレビ・ＺＴＶ・伊勢新聞の取材が学生と教員にありました。

また、私を含む専門家五名による子宮頸がん検診啓発の重要性についての講演会では、学生らが熱心に耳を傾けていました。学生たちにとって、大変貴重な学びの場となりました。

〈臨床検査学専攻〉

医療科学研究科 看護学分野 三期生の講義について

医療科学研究科 医療科学専攻
看護学分野 教授
國分 真佐代

二〇一九年度に開設した看護学分野ですが、今年度（三期生）は五人が在籍しています。五人は保健師、助産師、看護師としてのそれぞれの勤務をしながら、毎週土曜の後期講義に参加しています。講義はCovid-19感染対策のためにオンライン授業や対面授業を組み合わせながら行われていますが、一月には一年目のほとんどの講義を終えます。院生の講義は教員としても看護学を学ぶ楽しさを実感することができますが、一年目の講義についての院生の感想も一部ご紹介します。

■社会人経験を経て、再び学生として学ぶことの楽しさや学修の必要性を実感しています。授業では、細やかな指導のもと、臨床での疑問や今までの自身の看護を見つめ直すことができました。また、それぞれ専門分野の違う同期の院生と出会え、励まし合いながら課題をこなしています。院生同士の幅広い視点でのディスカッションは毎回充実した時間となっています。

■五人でディスカッションをする授業は、いつも楽しくて時間があっという間に過ぎていきます。色々な考え方があるという事をいつも教えてくれます。

精神保健福祉援助実習指導に係る実習報告会を開催

保健衛生学部 医療福祉学科
准教授 合田 盛人

六月二十五日（土）精神保健福祉援助実習指導に係る実習報告会を開催しました。これは、医療福祉学専攻で精神保健福祉士養成課程を選択している三年生が、毎年度二～三月に行っている精神保健福祉援助実習（障害福祉サービス事業所八日間六〇時間・精神科病院十二日間九〇時間―合計一五〇時間）にて学んだことを四年次で振り返り、専攻の教職員、下級生、実習指導者へ報告するものです。

昨年度の精神保健福祉援助実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で急遽学内実習へと切り替えたため、二年ぶりの現場実習となりました。実習の時期は、新型コロナウイルス感染第六波の時期と重なり、実習の安全が完全に確保されたものではありませんでしたが、精神科病院および障害福祉サービス事業所での実習は、精神保健福祉士をめざす学生にとって大変大きな学びになります。担当教職員間で何回もミーティングを行い、学科専攻会議において協議した結果、十分な感染対策を行ったうえ、コロナ禍でも実習を受け入れていただいた実習施設にて、六名の学生が無事に実習を修了することができました。

報告会当日は、県内外の実習施設から三名の実習指導者にもお越しいただき、実習を受け入れていただいた実習施設の職員、患者、利用者の方々へ感謝の気持ちを込めて報告しました。六名の学生がそれぞれに「患者との関わりを通して自らを理解する」「将来を見据えた関わり方」「当事者との向き合い方」「利用者主体の支援を知る」「障害者の地域自立生活に必要な社会資源と待つ支援」「変化の可能性を引き出すために利用者理解を深める」というタイトルで、精神障害者の方々とかかわり、向き合い、今なお社会にある精神障害者への差別偏見を実感し、専門職として支援するということはどういうことかを報告しました。そして、この実習を通して、学生が自分自身を振り返ることで自己覚知することができ、実習前と比べ大きく成長できたと思います。これから社会人として、地域社会で生きていく学生にとって、とても貴重な機会となったと思います。

〈医療福祉学専攻〉

新設される「臨床支援技術学」に向けて

医用工学部 臨床工学科
助教 最明 裕介

臨床工学技士の誕生から三〇年以上が経過しました。臨床工学技士は、透析や人工心肺、機器管理から心臓カテーテル、内視鏡などの臨床支援業務にも活躍の場を広げています。拡大する臨床業務に対し、厚生労働省からも養成校のカリキュラム改善検討会の報告書が提出されています。

本学科でも二〇二三年度にカリキュラム改訂が控えており、「臨床支援技術学」が新たに科目として追加される予定です。主な内容は心臓カテーテルと内視鏡になります。

私は臨床工学技士として二〇二一年九月まで内視鏡に携わってきました。内視鏡業務は手術室での外科的内視鏡と内視鏡室での内科的内視鏡に分かれ、それぞれの特徴を学習することが必要です。技術・知識を磨くことで多くの患者を助けることが可能となります。

臨床支援業務の重要性は大きく、臨床工学技士が機器のセッティングを行わなければ手術等を開始できない病院も多々あります。土台となるのは臨床工学技士が治療を行う環境を整えることです。内視鏡のみではなく、気腹装置や電気メス等の周辺機器の設定も患者に合わせて行う必要があります。この技術や知識の習得には「臨床支援技術学」が必要となります。

カリキュラム改訂も控えている現在、私たち教育者には業務拡大に関連した教育方法の再考や臨学連携教育の可能性についての模索が課題として挙げられます。「臨床支援技術学」は臨床と教育の乖離を埋めるきっかけになると考えています。

臨床工学科では、新設される「臨床支援技術学」に向けて今までにない教育の可能性を感じ、準備を進めております。

新カリキュラムに向けた実習室確保と実習機材の見直し

医用工学部 臨床工学科
助教 最明 裕介

本学科では多くの医療機器や工学機器を保有しており、実習機材として学内実習に使用しています。実習機材の充実は本学科の強みであり臨床工学技士養成校には欠かせないものです。現在も病院で使用中の機器を扱うことで即戦力となる臨床工学技士の育成を目指し、今では手に入らない昔の機器からは歴史を学ぶこともできます。しかし多くの実習機材を保有することで場所が取られるという問題もあります。

今回二〇二三年度より適用される新カリキュラムに向けて、新しい実習室の確保が求められました。実習室確保のため二五〇台以上の機器が除却予定となり、リストからメンテナンス・使用状況・耐用年数等を洗い出し、各担当教員への確認・機器移動・除却を行いました。当初、新規の実習室確保に向けた取り組みでしたが、既存の実習室の見直しなど様々な波及効果が得られました。

実習機材は臨床工学科の学生にとって重要な役割を果たすものであり、教員自らが選定を行うことで充実した学内実習が可能です。今後、本学科では新カリキュラムに向けた新規の実習室を使用し、臨床に求められる人材の育成をしていく所存です。

今回の機材除却処分は教員のみでは達成することはできませんでした。協力してくださった関係者各位の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

新規に確保した実習室

中高生向け薬剤師啓発事業検討会の取組み

（三重県薬剤師会・三重県病院薬剤師会・鈴鹿医療科学大学）

薬学部 薬学科
教授 藤川 隆彦

少し前になりますが、二〇二〇年九月二〇日（日）、三重県薬剤師会、県病院薬剤師会、本学薬学部の連携により、若年層に向けて薬剤師の魅力を伝え、県内薬剤師を増やす目的で、中高生向け薬剤師啓発事業検討会を開設しました（土日活用）。

その背景には、薬剤師の充足状況において大学薬学部が集中する都市部が高く、三重県では二〇二〇年の統計で人口一〇万人あたりの薬局・医療施設従事薬剤師数は一七一・七人と全国平均一九八・六人を下回っており（全国順位四十七都道府県中四十一位（二〇一八年順位三十七位））、県民医療の中心となる中小病院では薬剤師の確保に困窮しています。そのため、本検討会では、中高生に向けて薬剤師の魅力を伝える目的で、新リーフレットとクリアーファイル（記：君たち！薬剤師を目指してみない？）、シャープペンシル（記：県薬剤師会、県病院薬剤師会、本学）、漫画等を用いた薬剤師の仕事紹介資料（小中高生向け）などを作成しました。薬学科では、県内高校訪問、ガイダンス講義、オープンキャンパス、薬学部訪問者への個別対応等で活用させていただいています。

中長期的な対策として三重県内の高校生の薬学部への進学率を高めることが重要であると考え、中学生、高校生を対象とした動画（三―五分）を作成し、県薬剤師会ホームページに掲載しました：①君たち！薬剤師をめざしてみない？ ②薬剤師の仕事について ③鈴鹿医療科学大学について ④病院薬剤師の紹介。引き続きご協力をお願い申し上げます。

三重県薬剤師会 HP 内
本学薬学科紹介動画

同窓会事務局より

鈴鹿医療科学大学同窓会 表彰制度のご紹介

同窓会では、平成三十年度より本学の発展充実に寄与するため、卒後生涯教育事業の一環として本学卒業生の皆様の各種活動や業績に対し表彰する制度を設けています。

一つは、「親子二代にわたる入学者に対して感謝状を贈呈する制度」です。この制度は、同窓会が親子二代（直系の親・子の２世代）にわたる入学者に対して感謝状を贈り、感謝の意を表するものです。

そしてもう一つは、「功労表彰制度」です。これは卒業生が大学の一員である意識と一体感を醸成し、卒業生一人ひとりの励みとなるよう、社会に貢献し、顕著な業績をあげ、大学の発展に寄与された方を表彰するものです。

このような制度を通して、同窓会からの情報発信を積極的に行なっていくとともに、同窓生や在学生との連携を強化しながら、大学の発展や卒業生同士のネットワークづくりに努めて参ります。

ぜひお知り合いに該当する方がおられましたら、自薦他薦いずれもかまいませんので、お申し込みください。

表彰１　親子二代にわたる入学者に対する感謝状贈呈

対　象

親子二代（直系の親・子）が、現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学に入学された方

ただし、申請時において子が本学の在籍者であること

申請方法

申請には以下の事項を同窓会事務局まで、メールまたは郵送にてご連絡ください。

①親（卒業生）の学生番号（または学科と入学年度）と氏名

②子（在学生）の学生番号と氏名

③親の連絡先である住所、電話番号、メールアドレス

郵送の場合…

〒五一〇―〇二九三

鈴鹿市岸岡町一〇〇一―一

鈴鹿医療科学大学内

鈴鹿医療科学大学

同窓会事務局　武藤

メールの場合：mail@sums-aa.com

表　彰

表彰状の授与および記念品贈呈

付　記

①申請は随時受け付けておりますが、毎年十月末日で区切りますので、十一月以降にご提出いただいた方は翌年の十一月に贈呈式を行います。

②贈呈式には、原則二代揃ってご出席いただき、その場で贈呈させていただきます。贈呈式参加にかかる交通費は、親一名分を原則支給致します（ただし上限十万円まで）。

③申請時において親・子　共にご健在である方を対象とさせていただきます。ただし、同一申請人による申請は一回限りとします。

④被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

表彰２　鈴鹿医療科学大学同窓会功労賞（毎年若干名以内）

対　象

①現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学のいずれかを卒業された方

②社会に貢献し、又は顕著な業績をあげ、大学の発展、名誉及び信用の向上に寄与したと認められる方

【例：企業や病院の部・科長クラス以上、個人経営者、都道府県職能団体三役以上、都道府県レベルの学会・職能団体三役以上、または同役員経験十年以上、その他上記に準じる功績があり表彰に値すると認められる卒業生】

③同窓会正会員会費を納入されている方

①、②、③のいずれも満たす方が対象となります。ただし、本学の常勤教職員は除きます。

申請方法

自薦の場合、①履歴書②推薦理由（候補者の功績など表彰対象事項四〇〇字以上）を作成し本学同窓会事務局までメールまたは郵送にてご連絡ください。

他薦の場合、本学同窓会会長・同窓会各支部長を推薦者とします。卒業生のうちから本賞を受賞するに相応しいと認めたものを②推薦理由を添付し、八月末日までに同窓会常任理事会に推薦してください。

表　彰

表彰状の授与および記念品・賞金

付　記

①被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

②表彰式と表彰者による講演会を開催します。表彰式参加にかかる交通費は、原則支給致します（ただし上限十万円まで）。

③講演時間は、一人二十分～三十分程度を予定し、後輩（在学生）に語りかけるようなエピソードを含めた話をお願いいたします。

④表彰式と表彰者による講演会は、毎年十一月上旬および二月下旬に行う予定です。

同窓会事務局より

一定人数以上の同窓会開催を 同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、同窓生や学科のつながりを活性化することを目的として平成三十年度より、クラス会やゼミ会、サークルＯＢＯＧ会など、十人以上集まるクラス会等を開催された場合に対する助成を行っています。

それに加えて、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設けられています。

助成を希望される団体は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動１　クラス会等開催に対する助成

申請条件

次の卒業生の集まり。

①学年、学部、専修・専攻・学科が同じ卒業生の集まり（クラス会など）

②出身地または現住所の地区が同じ卒業生の集まり（地区会など）
③複数の卒業時期で同じゼミの卒業生の集まり（ゼミ会など）
④在学時に同じサークル・同好会の卒業生の集まり（サークルOB・OG会）
⑤現在の業種が同じまたは勤務地が同じ卒業生の集まり
・一団体につき年一回
・十名以上の参加があること
（ただし、同窓会支部活動補助との重複申請はできません）

申請者
本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法
申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。
送付先　e-mail: mail@sums-aa.com
①助成金申請用紙（別紙1　同窓会HPからダウンロードできます。）
②同窓会の案内状（メール画面、ハガキのコピーなど）
③同窓会報告用紙（別紙2　同窓会HPからダウンロードできます。）
④同窓会の出席者名簿（学生番号・氏名・住所＊1）
⑤出席者の集合写真（人数が確認できるもの）
＊1　会報郵送用連絡先として登録されます。

助成額
出席者一名につき一、〇〇〇円。上限は二万円。人数は報告書に添付していただく集合写真で確認するため、必ず出席者全員がそろっている写真を提出してください（写真は会報に掲載されます。なお写真は返却できません）。

付記
助成金の申請限度は一年度内に一回とします。
申請は同窓会が行われてから六ヶ月以内に申請してください。期限を過ぎた場合、申請しても受付できません。
同窓会助成は先着順とし、年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。
次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。
①申請書類に不備がある場合
②不正な申請があった場合

同窓会事務局より

卒業生のキャリア支援を、同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設けられています。
助成を希望される方は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動1　卒業生の学会参加への助成

申請条件
鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で、全国学会もしくは国際学会レベルでの学会発表を行った場合
（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の大学院進学への助成を受けた方は申請できません）

申請者
本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法
申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。
送付先　e-mail: mail@sums-aa.com
①助成金申請用紙（別紙3　同窓会HPからダウンロードできます。）
②活動状況がわかる本人が写っている写真一枚

助成額
国内全国学会・国際学会発表の場合
一万円／件

付記
申請受付は随時行いますが、年二回（七月末、三月末）締め切ります。
被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。
年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。
助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティ内で開催する授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。
次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。
①申請書類に不備がある場合
②不正な申請があった場合

活動2　卒業生の大学院進学への助成

申請条件
鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で大学院に進学し、優れた勉学成果を期待できる場合
（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の学会発表への助成を受けた方は申請できません）

申請者
本会正会員（会費が完納されていること）
二年生以上の大学院生

申請方法
申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。
送付先　e-mail: mail@sums-aa.com
①助成金申請用紙（別紙3　同窓会HPからダウンロードできます。）
②活動状況がわかる本人が写っている写真一枚

助成額
二万円／件

付記
申請受付は毎年五月一日～五月末日までとします。
被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。
募集人数は原則五名以内とします。
助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティ内で開催する授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。
次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。
①申請書類に不備がある場合
②不正な申請があった場合

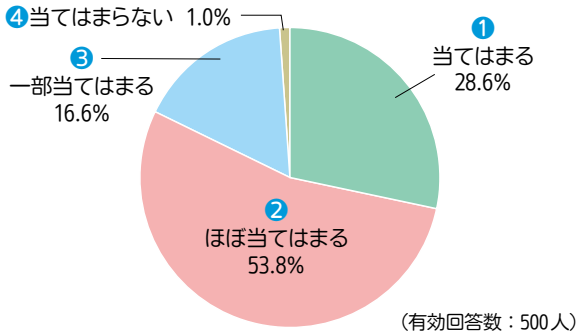
2021 年度学修成果に係る自己評価調査の集計結果について

昨年度に引き続き、2022 年 3 月の卒業生対象にアンケートを実施し、下記の 5 設問にお答えいただきました。本学での全課程を修了し、本学が掲げる 5 つの教育目標が達成できたかを自己評価していただきました。

今回、どの質問においても「当てはまる」と「ほぼ当てはまる」と回答された方が 80%以上となり、ほとんどの方が教育目標を達成されたことを確認させていただきました。

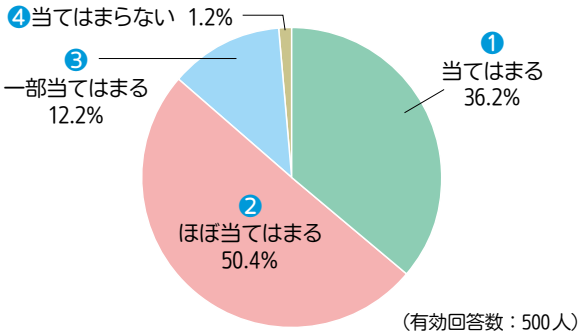
アンケートに御協力いただきました卒業生の皆様に感謝いたしますとともに、本学ではこの 5 つの教育目標の達成度をさらに高めるために一層の教育改革努力を行ってまいります。

設問1 高度な知識と技能を身につけることができた



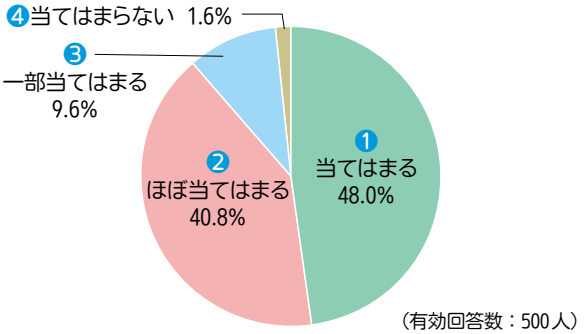
（有効回答数：500 人）

設問2 幅広い教養を身につけることができた



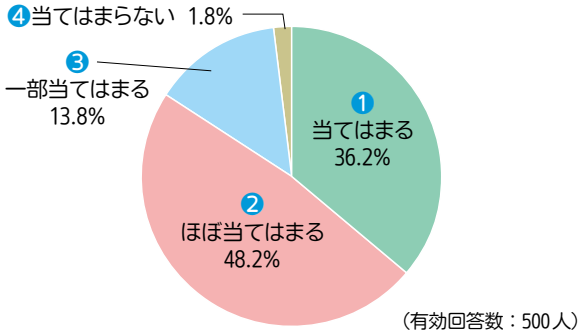
（有効回答数：500 人）

設問3 思いやりの心を育むことができた



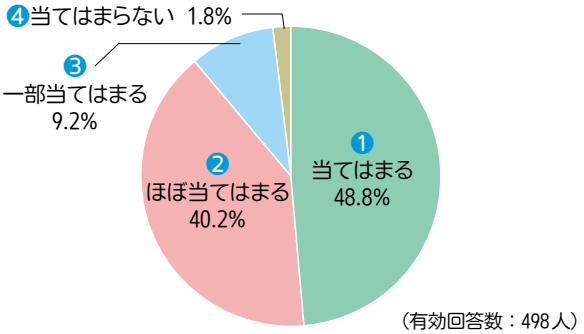
（有効回答数：500 人）

設問4 高い倫理観を持つことができた



（有効回答数：500 人）

設問5 チーム医療に貢献する意欲をもつことができた



（有効回答数：498 人）

- 対象者数：577 人
- 回答者数：500 人
- 回 答 率：86.7%

質問	❶当てはまる	❷ほぼ当てはまる	❸一部当てはまる	❹当てはまらない	無効
1	143 人（28.6%）	269 人（53.8%）	83 人（16.6%）	5 人（1.0%）	
2	181 人（36.2%）	252 人（50.4%）	61 人（12.2%）	6 人（1.2%）	
3	240 人（48.0%）	204 人（40.8%）	48 人（9.6%）	8 人（1.6%）	
4	181 人（36.2%）	241 人（48.2%）	69 人（13.8%）	9 人（1.8%）	
5	243 人（48.8%）	200 人（40.2%）	46 人（9.2%）	9 人（1.8%）	2

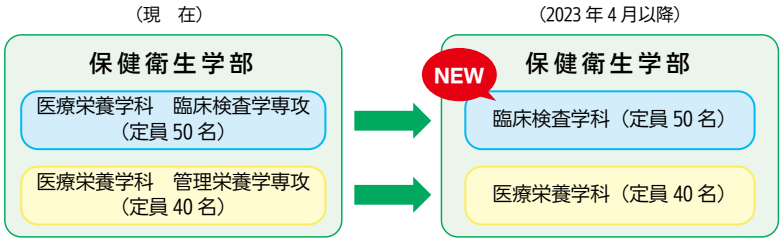
大学からのお知らせ

▶ 令和５年４月　保健衛生学部 臨床検査学科を開設します

鈴鹿医療科学大学は、令和５年（2023）４月に保健衛生学部医療栄養学科を改組し、現在の医療栄養学科臨床検査学専攻を学科として独立させ、保健衛生学部「臨床検査学科」を開設します。

学科概要

- 名　　称 ■ 保健衛生学部　臨床検査学科
- 開設時期 ■ 令和5（2023）年4月
- 入学定員 ■ 50名
- 修学年限 ■ 4年
- 設置場所 ■ 千代崎キャンパス（1年次は白子キャンパス）
- 取得可能な資格 ■ 臨床検査技師（国家試験受験資格）



※上記の内容は予定であり、今後変更する場合があります。カリキュラムや入学選抜内容に変更はありません。

▶ 医用工学部 医療健康データサイエンス学科 専攻の新設について

医用工学部 医療健康データサイエンス学科では、令和5年（2023年）4月に「データサイエンス学専攻」と「診療情報管理学専攻」を設置します。当学科在学生は、めざす資格や将来の進路希望に応じて2年次後期から2専攻に分かれます。

専攻概要

■データサイエンス学専攻 ■

医療・健康・福祉分野はもちろんのこと、幅広い領域における**データサイエンティスト**をめざします。

◎目標とする資格・検定試験

情報処理技術者試験（基本情報技術者、応用情報技術者）、統計検定（データサイエンス基礎）、医療情報技師、医療情報基礎知識検定試験

■診療情報管理学専攻 ■

診療情報管理士資格を取得し、医療機関等で活躍する診療情報のスペシャリストをめざします。

◎目標とする資格・検定試験

診療情報管理士、医療秘書技能検定試験（3級、2級）、医師事務作業補助者（ドクターズクラーク）

《参　考》◎両専攻共通で目標とする資格・検定試験

情報処理技術者試験（ITパスワード、情報セキュリティマネジメント試験）、統計検定（4級、3級）

※入学時において専攻分けは行わず、2年次に希望に応じて専攻を決定

▶ 三重県栄養士会と包括協定および覚書を締結しました

7月1日（金）、公益社団法人三重県栄養士会と本学は、連携・協力に関する包括協定を締結し調印式を行いました。また、包括協定に基づき、「災害時等における施設利用の協力に関する覚書」および「災害支援車両の設置・管理に関する覚書」を交わしました。栄養士会と大学が協定を締結し、災害支援車両の管理と運用を行うのは、全国で初の試みです。

本包括協定は、それぞれの資源を活用し、医療栄養学科の学生の育成及び管理栄養士・栄養士の資質向上など双方の教育・研究活動の発展に寄与するとともに、地域住民の健康・医療・福祉・食育に貢献するため、相互に連携と協力を深めることを目的としています。

「災害時等における施設利用の協力に関する覚書」においては、県内に震度5強以上の地震や大規模災害等が発生し（又は発生が予測される場合）、当会災害対策本部を構える建物が被災した際に、本学施設の一部を利用して災害対策事業が実施できるよう、本部を設置することとなりました。

「災害支援車両の設置・管理に関する覚書」においては、日本栄養士会から当会に管理と運用を委託された災害支援車両（JDA-DAT河村号）１台を本学に設置します。双方が本車両を活用することにより、災害時における県民の健康管理等、医療栄養学科の学生の育成及び管理栄養士・栄養士の資質向上など双方の教育・研究活動の発展につなげていきます。

キッチン資材を搭載したキッチンカーであるJDA-DAT河村号は、災害時には、災害支援車両として各地で活動し成果を上げてきました。特殊栄養食品（母乳代替食品、離乳食、食物アレルギー対応食、濃厚流動食、経管栄養剤、介護食、とろみ剤、低タンパク質食など）等を被災者のもとへ届けて栄養面での支援を行います。

JDA-DAT活動の訓練を受けた専門性の高い指導者は県内に8名おり、そのうち2名は本学医療栄養学科に所属する教員です。調印式の後、その教員がJDA-DAT河村号の展示説明と、キッチンボックスを使用して災害時に役立つパッククッキングの実演を行いました。

三重県栄養士会 池山副会長と井後会長
本学 髙木理事長と豊田学長（左から）

入学課からのお知らせ

大学院入試について

医療科学研究科医療科学専攻修士課程・博士後期課程
薬学研究科医療薬学専攻博士課程（4年制）

本学大学院には毎年20名ほど社会人の方が入学されています。勤務しながら就学できるよう、授業や研究指導の配慮を行っています。2018年4月より、公認心理師・臨床心理士の受験資格に対応した公認心理師・臨床心理士資格取得コース、2020年4月からは、臨床検査技師を対象とした、細胞検査士資格取得コースも開設しました。また、2023年4月からは作業療法学分野の受入れを予定しています。

本学卒業生は検定料（35,000円）および入学金（200,000円）を免除しています。大学院で学び、皆様方のキャリアアップにつなげていただければと思います。

● 2023年度大学院入試日程（医療科学研究科・薬学研究科）

期別	出願期間	試験日	合格発表
1期	2022年8月26日(金) ～9月 2日(金)	2022年9月24日(土) 【今年度は終了しました】	2022年10月11日(火)
2期	2023年2月 3日(金) ～2月10日(金)	2023年3月4日(土)	2023年3月15日(水)

※医療科学研究科は社会人特別選抜、東京サテライトコース（社会人診療放射線技師対象）入試があります。
※薬学研究科の社会人特別選抜入試はありません。薬剤師資格を取得している事が出願条件となります。
※詳細につきましては、本学ホームページ及び大学院学生募集要項をご覧ください。

学部入試について

おかげさまで本学は創立30年を迎えました。これまでに10,000名を超える卒業生が全国各地の医療機関・福祉施設等で活躍し、OB・OGによって結ばれたネットワークは後輩の就職活動の大きな味方になってくれています。

近年は、同窓生のご子弟が本学に入学される機会も増えてきました。医療・福祉分野への進学を希望するご家族、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、医療現場で活躍する先輩として、鈴鹿医療科学大学をよく知る先輩として、ぜひとも本学をご推薦ください。

学部入試の詳細は本学ホームページでご確認ください。大学案内・入試ガイド等のご請求は、ホームページ・メール・電話で受付けております（無料）。お気軽にお問い合わせください。

大学院についてのお問い合わせ

鈴鹿医療科学大学　大学院課
TEL：059-340-0334（直通）

学部入試についてのお問い合わせ

鈴鹿医療科学大学　入学課
TEL：059-383-9591（直通）
HP：https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/
E-mail：nyushi@suzuka-u.ac.jp

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会会報の原稿を募集します

本会報は母校卒業後も学校・同窓生を結び、会員皆様に親しまれる会報誌として編集・発行されて参りました。今後も内容を充実させ同窓皆様の交流を支援する会報誌を目指して参りますので、広くご寄稿をお願い申し上げます。

ご寄稿を頂きました方にはささやかですがお礼をさせて頂きます。

1．ご寄稿記事内容

①母校、同窓会、同期会に関わる思い出
②同窓生のお店（開業されているかたのお店紹介や、勤務先施設の紹介についてなど）
③学会、研究会、クラス会案内
④その他同窓会から募集するテーマ

2．原稿

①のみ300～600字程度。②③④は300字程度。寄稿者本人写真及び関連写真やイラストをご提供願います。

3．送付先と締め切り

同窓会事務局までメールまたは郵送してください。次号のご寄稿締め切りは、2023年7月末日になります。（発行は2023年10月1日予定）

支部同窓会を結成しませんか？

本会では、理事会の議を経て、学科別および地域別に支部を結成することができます。2022年8月現在、5支部（放射線技術科学科、医療栄養学科（管理栄養学専攻）、医療福祉学科（医療福祉学専攻）、鍼灸サイエンス学科、薬学科）が結成されています。本会支部として活動される場合、支部で開催される卒業生交流支援活動に対して、規定により補助が行われます。支部活動報告は、同窓会会報他で行っていただきます。まだ学科支部が結成されていない学科の卒業生皆様、卒業生の交流や後輩在学生への支援活動として支部同窓会を結成しませんか？支部結成を希望される場合は、同窓会事務局までメール mail@sums-aa.com でお知らせください。

転居時はご連絡を

住所が正しく登録されていない方には、同窓会会報や各種ご案内がお届けできません。

住所等を変更される場合や改姓改名された方は、同窓会ホームページ（http://www.sums-aa.com/index.html）から変更登録ができます。また、QRコードからも登録情報変更ページにアクセスできますのでご利用ください。

同窓会名簿の頒布について

2005年4月から個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、本会では同窓会名簿を頒布しないこととさせていただいております。悪しからずご了承ください。

各種同窓会の開催連絡は、同窓会会報やHPをご利用いただけます。また、ご友人に連絡を取りたい場合につきましては、同窓会事務局へご連絡ください。ご本人からの許可がない限り、直接、情報を開示することはできませんが、同窓会事務局から先方にその旨をお伝えいたします。

悪徳業者にご注意を

鈴鹿医療科学大学同窓会事務局からの「住所調査や名簿発行」と名乗り、電話で住所や勤務先などの個人情報を調べる業者がいます。本会では電話での住所調査等は行っておりません。ご注意ください。

大学からのお知らせ

■ 卒業生アンケートのお願い

本学の教育についての点検・評価を検討するために、卒業生の皆様にアンケートを実施しております。アンケート結果は目的以外には一切使用いたしません。卒業生の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本学HP ＞ 卒業生の方へ ＞ 卒業生アンケート

（QRコードからもアクセスできます）

■ 2022年度　大学祭（碧鈴祭）について

第32回　碧鈴祭テーマ：
『笑面突破！ ～飛び越えろ！ 自分の限界～』

開 催 日：2022年11月12日（土）、13日（日）
開催場所：鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパス
一般来場も含めたオープン開催の予定です。
（感染拡大の状況により変更となる場合がありますのでご了承ください。）

（学生課）

編集後記

1991（平成3年）に2学部4学科で開学した本学は、今年度から救急救命学科も加わり、4学部10学科（14専攻）となりました。現在は約2,900名の学生が在籍し、それぞれの医療専門職種を目指して学んでいます。多職種連携教育への取り組みが進む中で、様々な職種への理解を始めとして時代に合わせた学びが取り入れられています。同窓会においても母校の後輩たちの学びのサポートに少しでも関わる活動ができればと思います。

発行／鈴鹿医療科学大学同窓会 事務局
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1 鈴鹿医療科学大学内
FAX：059-383-9666　E-mail：mail@sums-aa.com
WEB：http:www.sums-aa.com/　印刷／伊藤印刷株式会社